

一 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい

言葉は息です。これは人間の内部と身体の外を^①オウフクするもので、吐く息吸う息というのは昔からの人間の生命の^②ショウチヨウとしていわれていることは申すまでもないことです。つまり人間の生の、生きることのもっとも根本の^③イトナミである呼吸作用が変化したものが言葉だ、というふうに言えます。

こういうふう^Aに人間の肉体の内外を、いわば自由にとおるものは息、すなわち言葉のほかにはないのです。言葉が人間の内面の表現であるということが言葉の人間に対してもつ非常に大きな意味であると言えましょう。最近言葉による表現は映像による表現に席を譲りつつある、というようなことが言われます。それはたとえばテレビの^④フキュウであるとか、文字を読む能力の^⑤ゲンタイであるとか、というような現代文化の特色をとらえた言葉かもしれませんが、しかし仮にテレビがどんなにフキュウしたところで、それが表現できるのは主として人間の外面です。その内面^Bにいたっては言葉の助けを借り、しかも言葉だけの場合よりもはるかに限定された、いわば貧しい形^Cでしか表現できないのは少し考えてみればわかることです。

ある小説家が映像文化に対する皮肉として、たとえばスタンダールがある女性を形容して、彼女はパリーの美人である、というふう^Cに書くと、読者は素直にそのイメージを受け入れて彼女の^⑥ビボウをいくらでも完全な形で想像しえる。しかしこれを映画で表そうとすると、パリ中の女性が集まっても、またパリ中駆け回ってどんな美人を探してきても、あくる日にはそれより美しい女性が出てくるかもしれない、そういう^⑦フベンなものだといったことがある。むしろこれは^Dですが、考えるに値する^aであろうと思います。

そういう意味では言葉は、人間の顔に似ているとも言えます。人間の顔は確かに非常に限られた平面において、限られた道具だけで作られる形ですが、しかしその顔の表現を現しているもの、あるいはわれわれが人の顔から受ける印象というものは、単なる形ではなくて、その顔の持ち主の精神、あるいは内面です。たとえばいじわるそうな顔をしている、^⑧ムジヤキそうな顔をしている、とわれわれはよく申しますが、それがどういう顔なのか具体的にいつてみる、と言われるとこれは困ってしまう。しかしそういう印象を人間の顔がわれわれに与えるということは、これは動かせない事実です。それでよく四十を超した男の顔は（あるいは三十を超した女の顔でもいい）その人の責任である、というふうに申します。これはそのとおりであろうと思います。形というものと、人間の形のない精神がここで相接している、そういう^bが人間の顔であると言えましょう。

受験 番号

氏 名

問一 傍線①から⑧までのカタカナを漢字で書きなさい。（送り仮名も書くこと）

問二 この文章のある場所に、次の一文が（ ）で挿入される。それは（それはたとえば告白が
この葉によつて行われることの端的な終わりにおかれているか。一つ選べ。

DCBA
言葉が人間の内面の表現である
その内面に映つては言葉の助けを借り、
あるいは作家が映像文化に對する皮肉として、
そういう意味で言葉は、人間の顔に似ているとも言えます。

問三 傍線Dで筆者が言葉と顔を比較しているが、筆者の論旨に合うものは○、合わないものは
×として答えよ。

- ⑤④③②①
- 「言葉は顔も映像化されると言う点で似ているから。
言葉は人間の精神をあらわし得ないから。
言葉は人間の精神をあらわし得ないから。
言葉は人間の精神をあらわし得ないから。
言葉は人間の精神をあらわし得ないから。」

問四 空欄 a には同じ語句が入る。次の語句のなかから一つを選べ。

- ① 事実 ② 虚偽 ③ 冗談 ④ 常識

問五 空欄 b に入れるべき語句を、次の語句から選べ。

- ① 象徴 ② 接点 ③ 現実 ④ 形象

受験 番号	
氏 名	

二 次のー線の漢字の読みをひらがなで書きなさい

- ① 執念で勝ち残る

② 海に臨んだホテル
- ③ 悪寒がする

④ 氷雨が降りしきる
- ⑤ 憤りをおぼえる

⑥ 躍起になる
- ⑦ 粛々と事をすすめる

⑧ 事実を歪曲して伝える
- ⑨ 春の兆し

⑩ 酒肴を膳に盛る

三 次の（ ）内のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① （カゼ）は万病のもと

② （ヒンプ）の差がはげしい
- ③ 筋力が（オトロ）える

④ （シヨクモツセンイ）をとる
- ⑤ 運動不足による（ヒマン）体型

⑥ 情報が（ツツヌ）けになる
- ⑦ 資料を（エツラン）する

⑧ （コウセイブツシツ）をあたえる
- ⑨ 人目を（サ）ける

⑩ 感慨（ムリョウ）だ

四 （ ）にあてはまる漢字1文字を埋めて四字熟語を完成させなさい。

- ① 四面（ ）歌

② 相（ ）効果

③ 日常（ ）飯
- ④ （ ）瀾万丈

⑤ 温（ ）知新

五 次の書き出しで始まる文学作品を答えなさい。

- ① 行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。

② 親譲りの無鉄砲で、子供の時から損ばかりして居る。

③ 春は曙。やうやう白くなりゆく、山ぎは少し明かりて、紫立ちたる雲の細くたなびきたる。

④ 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰のことはりをあらはす。

⑤ 天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず。

受験 番号	
氏 名	

※試験終了後 問題も回収します。